

統一テーマ		法実務を踏まえた紛争予防のための実践的な思考法を知る	
受講者に修得させたい能力 (要点)		経営者に求められる予防法務の基本的な思考法	
回数	タイトル	講師	具体的内容
第1回 90分	予防法務に基づく 組織・体制づくり ～血の通ったコン プライアンス～	池田晃司 国広総合法律事 務所 パートナ ー弁護士	不祥事を予防するために必要な企業の組織・体制づくりの要点を論じる。従来の「役員研修」のような抽象的知識ではなく、講師が経験した不正調査事案から逆算した、血の通ったコンプライアンス（再発防止）を述べる。また、「義務・法規制」のみでなく、実際に「トラブル化した際のインパクト」を見据えた思考や判断方法を示す。想定するトピックは以下のとおり。 1) 具体例で考える血の通ったコンプライアンス 2) 他社の不祥事に見る注意すべき不正リスクと企業風土との関係 3) 不祥事の結果としての取締役の善管注意義務違反等 4) 不祥事を防ぐには
第2回 90分	「働く人」にまつ わる紛争と予防の 実践的思考	菰口高志 大江橋法律事務 所 パートナー 弁護士	様々な業種の企業に共通する、「働く人」にまつわる紛争に焦点を当て、経営者に求められる知識と思考法の基礎を論じる。想定するトピックは以下のとおり。 1) 必要な法知識 労働法総論 フリーランス法 2) 必要な思考法 「予防」×「時間軸・状況別」での問題整理 「事前予防手段」としての契約、人事制度、規程、体制作り 適時適切なリスク対応 「紛争の種」への対応：実務的かつ個別具体的なリスク判断の手順
第3回 90分	複数のユニットを 総合した事例検 討：疾病／災害予 防と紛争予防	菰口高志 大江橋法律事務 所 パートナー 弁護士 ※可能であれば、 医師有資格者も 招く。	予防構築学の主題である「複数の専門領域の連携」を、ケースを通じて体得する。具体的には、疾病及び／又は災害予防と紛争予防の交錯する事例を素材として、グループディスカッション形式で「あるべき予防策」を検討する。 3 ユニットに関わる現実的な事案を紹介した後、紛争予防の観点から、「何ができたか」、「専門家の活用により、経営者に足りない情報・判断をどのように埋めるか」を多角的に議論していただき、講師なりの考え方を披瀝し、総括する。